令和6年度 「札幌の特色を活かした国際金融都市の実現に向けた基礎調査業務」

～ 報告書要旨 ～

令和7年7月 札幌市

本調査の背景・目的

- 札幌市では「GX 金融・資産運用特区」を活用しながら、GX産業に関する資金、人材、情報が集積するアジア・世界の金融センターを目指すため、海外資産運用会社等の誘致にかかる的確な戦略策定が求められている。本調査は、世界の金融都市における実情等を様々な視点から調査し、国際金融都市の意義や可能性を分析し具体化するとともに、今後札幌市にとって必要かつ効果的な施策を構築するための基礎を築くことを目的とするものである。

現状分析

- 金融センターとしての国際的な評価及び人口・経済規模等を参考に、海外諸都市の調査・分析を実施。各都市の成功要因のうち、札幌でも取り入れることが望ましいと考えられる視点として、「精緻な分析に基づいた成長戦略・政策方針の策定」「クラスターを作る好循環を生み出すための初動及びそれを自律的に発展させる仕組みづくり」「洗練されたビジュアライズ資料によるPR」が挙げられる。
- 札幌・北海道におけるGX産業の投資可能性について、将来規模予測だけでなく、常に変動する投資環境の促進/阻害要因の把握、注力すべきGX分野の特定が重要。また、地域行政と連携しつつも、政治と独立した一貫性のある短・中・長期戦略の策定と実行が必要であり、かつ行政機関の枠を超えたクラスターによる取組が推奨される。

ロードマップと提言

- 国際金融都市の実現のためには、金融 & フィンテックのエコシステム形成が不可欠。また、クラスター組織を活用することにより、それを効率的・効果的に進めていくことが可能となる。
- 長期的な目標として、「GX分野で価値を創出する国際金融都市」という最終形を示しつつ、短期的には、産業分野や規模感に親和性のあるメルボルン、コペンハーゲンを参考に、「GX特定領域」と「フィンテックエコシステム」を相乗的に掛け合わせたアプローチを取り、現実感を持ったロードマップで利害関係者を巻き込む戦略が考えられる。
- 国際的な投資誘致における基礎的な情報(なぜ札幌なのか、成長可能性、成功事例、ビジネス立ち上げ方法等)は最低限整備し、ウェブサイトやプロモーション活動で発信することが基本的な取組となる。
- 加えて、他地域と差別化するため、札幌の独自価値(北海道内におけるGX投資の具体的な成長性・収益性、投資ポテンシャル、地政学的なリスクヘッジの優位性等)を同時に訴求したアプローチをすることが肝要である。